



安曇野市と共同で排水ポンプ車実働訓練を行います

千曲川河川事務所では、現在、排水ポンプ車（排水能力 毎分30トン）を6台配備し、洪水などの際には、地方公共団体等からの要請により現地に出動し、内水被害の軽減に努めています。そのため、迅速にポンプを設営し排水作業を行うためには、日頃からの設営・排水訓練が不可欠であり、管内において定期的の実働訓練を行っています。

今回、千曲川河川事務所と安曇野市の共同で下記により実働訓練を実施しますので、地域の皆様には訓練を見学していただき、防災意識を高めていただければ幸いです。

記

日時：平成22年8月9日（月） 14時00分～15時00分

場所：安曇野市穂高 白金橋周辺（万水川左岸・白金橋上排水樋門）

訓練場所位置図



H21年9月に松本市で行った訓練状況



平成21年9月9日に松本市、奈良井川左岸の拾ヶ堰用水路で行われた実働訓練では、地域の皆様をはじめ、市町村関係者、地元消防団員の方々など約60名の方に見学いただきました。

参考資料 H21年9月9日松本市での訓練状況

安曇野市からも同旨の記者発表が行われています。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所 026(227)7611

副所長（技術）白井 正己

管理課長 塚田 誠一

国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所 CHIKUMA RIVER INFORMATION ROOM 千曲川情報館

[状況/河川情報](#)
[ニュース/イベント](#)
[入札契約情報](#)
[事務所と事業](#)
[車庫への取り組み](#)
[知る・遊ぶ・協働](#)
[親睦学習旅行](#)
[リンク集](#)

千曲川だより

発行:千曲川河川事務所

掲載日 2008/09/25

中信平で初めての訓練！ 松本市で排水ポンプ車実働訓練を行いました

今年も長野県内では、集中豪雨等による土砂崩れや床下浸水の被害が発生しており、地域の安全安心を求める住民の皆さんの声は、切実なものとなっています。

こうした状況から、千曲川河川事務所では、排水ポンプ車(毎分30トンの排水能力)を、管内に5台配備し、出水時などの内水被害の軽減に備えています。迅速にポンプを設置し、排水作業を行うためには、日頃からの設置・排水・撤去訓練が必要不可欠であり、定期的に訓練を実施しています。

このため9月9日(水)に、中信平では初となる松本市を訓練会場とし、奈良井川左岸の捨ヶ原用水路にて訓練を行いました。



排水ポンプ車の性能や、配備目的を広く知ってもらうため、松本市などから訓練の見学を呼びかけていただいたところ、地元住民の皆様はじめ、諸消防署や地元消防団員、市町村の関係者や地元の方々など、約80名の方にご参加いただきました。



また、訓練には、菅谷松本市長も視察に訪れ、ポンプ車の排水能力と機動性に、高い関心を示されていました。また、住民の方々からも厚い信頼が寄せられ、訓練会場に展示した写真パネルで、過去の水害時の排水作業の様子などを興味深く見入っていました。



千曲川河川事務所では、今後も、地域の安全・安心のため、訓練の継続と、市町村などからの要請があれば、いつでも出動できる体制を整えて参ります。